

Air Traffic Control



記念すべき第1回目となる今回！

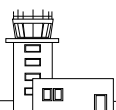
全国の各基地の魅力を航空管制官が紹介する
「ここがすごい！基地紹介シリーズ」では、

パイロットの卵を育成する
小月航空基地（山口）

周囲を海に囲まれた四国の絶景！
海上自衛隊のヘリコプターを運用する
小松島航空基地（徳島）

にフォーカス！

特集では海上自衛隊の航空管制官の主要業務の1つである
「飛行場管制」を紹介します。



小月航空基地

～山口県～

任務

小月航空基地は関門海峡に面した飛行場で、将来、海上自衛隊で活躍するパイロットの卵を育成するための航空基地です。

管制官だけの風景

管制塔から見る海自唯一のアクロバット飛行チーム「ホワイトアローズ」は、迫力満点！



小月管制塔（360°見渡せる）

ここがオススメ

小月は九州へのアクセスも良く、休日には小倉や博多へ出かける隊員も多いです。プライベートとメリハリがつき、充実した日々を過ごせます！



管制官のとある1日

出勤
7時頃

管制塔
8:00

昼食
11:00

運航事務所
12:00

退勤
16:45



出勤したらまずブリーフィング。
その日の情報収集中...



お昼は隊員食堂で食べます。
この日はお弁当の日でした。



午前中は管制塔で勤務。
まだ訓練生なので緊張の連続です。



午後からは運航事務所にて
航空機の飛行計画を入力します。



仕事終了！
今日も一日頑張りました。

※運航事務所：通称“Base Operations”

航空機の運用に係る通報・航空機の運航のために必要な情報の提供及び飛行場の運用に係る業務を実施する場所。

若手隊員の声

私は高校卒業後に入隊し、現在では小月航空基地で航空管制官になるための訓練に日々励んでいます。

教育隊で初めて航空管制官という職種を知り、業務内容を知れば知るほど私に務まるのかとても不安でした。ですが第5術科学校を修業後、小月に来て、ユーモア溢れる先輩方が一から教えてくださり、緊張感を持ちつつも楽しく訓練に打ち込むことができています。



※第5術科学校：陸・海・空自衛隊の航空管制官教育を行っている学校

稲垣士長
小月



真剣な眼差しでマイクを握る稲垣士長

今の目標は、仕事もプライベートも両立して充実させることです。訓練生としての勉強も趣味のカメラの勉強も全力投球していきたいです！

ベテランの声

飛んでいる航空機を誘導することの責任の重さは、この仕事を何十年続けても色褪せることなく両肩にひしひしと感じています。しかし、その責任の分だけ誇りを持って取り組めるのが航空管制という仕事。守って当たり前前の航空安全。誰に褒められるわけもなく、ただただ安全を守り抜くことが私達の誇りです。

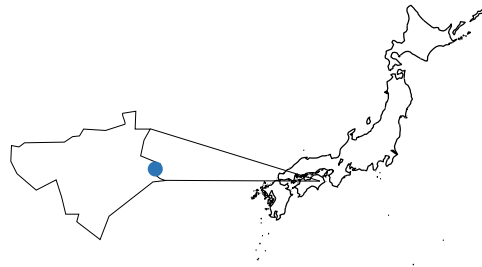
加藤曹長
小月



若手隊員にアドバイスをする加藤曹長

小松島航空基地

～徳島県～



任務

小松島飛行場は、周囲を海に囲まれた半島に突き出した位置に存在し、海上自衛隊の保有するヘリコプターを運用する基地となります。



周囲を海に囲まれている小松島航空基地

管制官だけの風景

270度を海に囲まれた半島突端にある航空基地。
飛行経路の直下を行き交う船舶にも気を配りながら管制するのは小松島の管制塔くらいかも！

ここがオススメ

海が近いので「しらす漁」やマリンスポーツが盛んです。そして徳島県といえば「阿波踊り」！基地の皆で一丸となって踊ってます。

管制官のとある1日

出勤

7時頃

運航事務所

8:00

昼食

12:00

管制塔

13:00

退勤

16:45

仕事終了！
夕飯が楽しみです。



出勤後のブリーフィングの様子



お昼ご飯は食堂で
絶品海自カレーを
食べました！



午前には運航事務所にて、飛行計画書の処理や航空機の運航情報の通報などの業務を実施します。



午後は管制塔で勤務。
周囲を海に囲まれた
絶好のロケーション。
午後は海面からの
反射が眩しい。
先輩からの指導も
眩しい。

若手隊員の声

私は現在、小松島航空基地でODPOとして飛行管理業務に就いています。あと少しで飛行場管制の訓練が始まるところで、実際にパイロットと交信し、航空管制業務を行います。普通に生活していたら絶対できない業務が経験でき、やりがいと面白さを感じています。



川崎士長
小松島

今後大変なことも多々あると思いますが、自分なりに早く部隊の先輩方に追いつけるように頑張っていきたいです。

※飛行管理業務：航空機の運航に係る通報及び航空機の運航に必要な情報の提供に関する業務

※ODPO：Operation Duty Petty Officer の略
運航事務所において飛行管理業務を担当

※飛行場管制：詳細は後半の特集ページをチェック



週末はサイクリングで徳島県内を散策

大竹士長
小松島



私は徳島県の小松島航空基地で飛行場管制免許取得の訓練を始めたばかりです。私の仕事は航空機に指示を出し安全に飛行できるようにすることです。航空管制の仕事は覚える内容が多く、規則が複雑で難しいです。

しかし、日々出来ることが増え、任される業務が増えるにつれ自分の成長を感じます。難しい仕事ではありますが、航空安全に深く携わっているということが自分に活力を与えてくれます。



購入したてのアルファロメオ



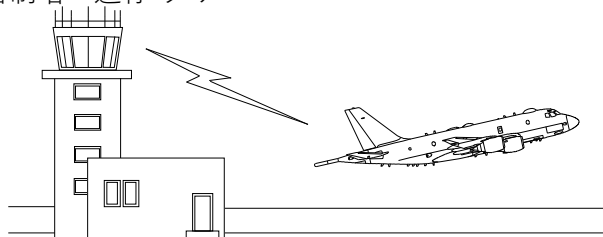
海上自衛隊の航空管制

飛行場管制

皆さんが思い浮かべる航空管制官のイメージはどのようなものでしょうか？マイクを持っている？管制塔にいる？



管制塔：通称“タワー”



フライトの最初と最後に交信するところ

海上自衛隊の基地から飛び立つ全ての航空機の安全を守る司令塔として、航空機の離着陸許可やさまざまな指示を出しています。

そんなまさに
“THE 航空管制官”
の仕事の一つが
飛行場管制業務
になります。



着陸寸前のP-1哨戒機
管制官は、この瞬間に最大の注意力を注ぐ！



地上や滑走路にいる
航空機、空港の周辺を
飛行する航空機に対し
『目で視て』行う、
一般的にイメージされ
る管制です。

離陸許可の

“cleared for take off”

を言うのはここです。

航空機はまず管制塔と

やり取りをして離陸。



飛び立った航空機を着陸
させるのもこの仕事です。
長旅お疲れ様でした！

海上自衛隊航空管制官の

キャリアパスとはいかに、..！！

民間と共同運用の基地があるの？！IN徳島航空基地

大自然の京都に刮目せよ〇〇IN舞鶴航空基地

特集 海上自衛隊の管制 レーダー管制編

の豪華4本立てでお送りします

次回

次回は、
GW頃だよ！

